

広報

10

Oct.2022
vol.634



献上桃の郷。
桑折町
こおりまち

町を想い、愛する、すべての町民とともに 『みんなが幸せを実感できる元氣なまちこおり』の実現



高橋町長に聞く 4期目の展望

PROFIRE 桑折町出身。65歳。福島高卒、立教大経済学部中退。1987（昭和62）年から町議を6期23年務め、2003（平成15）年から2010年まで議長。2010（平成22）年の町長選で初当選。3期目任期満了に伴う「桑折町長選挙」は9月20日告示され、再選を果たした。

地理的優位性活かし 活力とにぎわいを創出

相馬福島道路の全線開通で各方面から注目が集まっているこの機を逃さず、伊達桑折IC周辺への企業誘致を進め、新たな雇用の創出とさらなる税収を確保し、町民所得の向上と再分配を図ります。

また、蚕糸跡地に完成するスーパーやグランピング施設、認定こども園の開業を機に、日常生活の利便性向上やまちなかの賑わい創出、地域活性化を図り、地場産業や商工業の振興につなげます。

29年連続で皇室献上品に選定された本町産の桃は、知名度やブランドイメージが飛躍的に高まっています。基幹産業である農業振興では、町独



誰もが安全・安心に 暮らせる町を創る

激甚化・頻発化するあらゆ

る自然災害から、町民の生命と財産を守るとともに、安全・安心な暮らしを維持するため、災害に負けない強靱な社会基盤を構築していきます。

また、迅速な情報発信や災害対応訓練、非常用品の備蓄など、役場庁舎を拠点とした防災対策を強化するほか、消防団の活動環境を向上させるとともに、町内会や住民自治協議会などの地域コミュニティ活動の支援を通し、自助・共助・公助に基づく地域防災力を強化します。

自然と調和した 豊かな暮らしを創る

良好な住生活環境を維持するため、道路・水路の適正な整備と維持管理に努めるほか、空家の流通や適正管理を促進します。

また、ごみ減量化事業の推進や再生可能エネルギーの普及拡大、半田山や産ヶ沢川など自然環境の保全に努めるほか、「ジェンダー平等」などSDGsの目標を意識した各種事業を推進し、生活の豊かさをより一層高めながら、次世代に引き継いでいきます。

健康長寿で 元氣な町を創る

「こおり健康楽会」の事業を通して、町民の健康意識は高まっています。引き続き、多様な主体と連携し、先進的な健康維持・増進事業に取り組み、健康寿命の延伸につなげます。

高齢福祉については、社会福祉協議会や各事業所などと連携し、介護保険事業の充実を図るほか、地域サロン活動などの支援や芸術・文化に触れる機会の創出、「お出かけバス」事業による移動手段の確保などで、生涯に渡って住み慣れた地域で生きがいを持ち、元気に活躍できる地域社会を作っていきます。

次世代を担う子どもたち を大切に育む

「子育てするなら桑折町」と言われるよう、引き続き、子育て世代に寄り添う支援に努めます。待機児童ゼロの堅持や乳幼児保育・教育の質の向上を図ります。また、育児用品プレゼントや制服支給の継続、給食費全額助成を実現し、

経済的負担の軽減を図ります。

教育については、特別支援教育や不登校対策など、個に応じた支援体制を充実させるほか、平和学習事業やふるさと学習を継続し、郷土への愛着心に溢れる桑折っ子を育みます。また、町独自の土曜学習塾や奨学金制度に加え、ICT教育の充実を図りながら、「桑折町の15歳のめざす姿」を実現します。



豊かな地域資源を活かし 人と人の絆を育む

「献上桃の郷」の商標や町ロゴマークを活用したシティブロモーション事業、移住定住促進事業が功を奏し、桃の最盛期における来

訪者が大幅に増加したほか、人口動態でも社会増減がプラスに転じています。今後は、ICTを効果的に活用しながら、献上桃や西山城、郡役所、半田山などの地域資源の魅力を効果的に発信し、交流・関係人口の増加を図ります。

また、住宅取得助成事業など若い世代向けの住宅施策を充実し、人口流出抑制や移住定住を増加させ、地域社会の持続性を高めます。

「住み続けたいまち 住み たいまちこおり」の実現

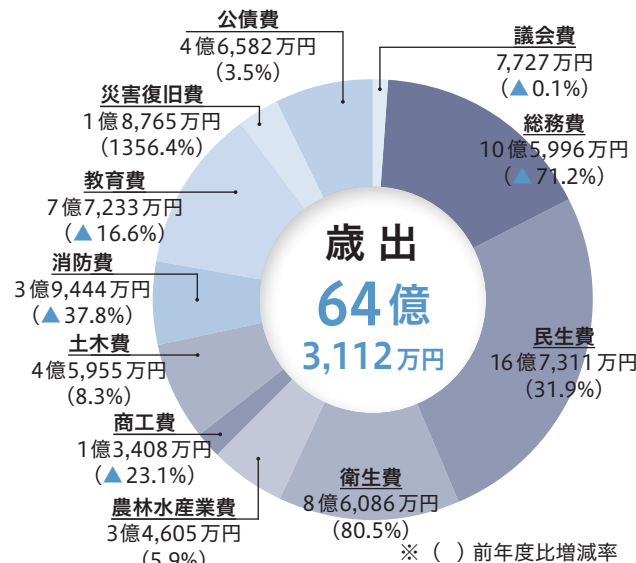
本町はいま、人口減少・超少子高齢社会の進行や、度重なる自然災害などの地域課題に加え、新型コロナウイルスを代表とする地球規模の課題への対応も求められています。

時代の潮流を見誤ることなく、常に変革を成し遂げ、先人から受け継いできた恵まれた地域資源をしっかりと守り、活かしながら、将来にわたり「住み続けたいまち 住みたいまち こおり」を創造していくことが使命と捉えており、3期12年の経験と、郷土発展への想いを胸に、引き続き、全身全霊をかけ町政執行にあたります。

歳出の特徴

新庁舎整備事業の完了などにより、歳出総額は減少しました。

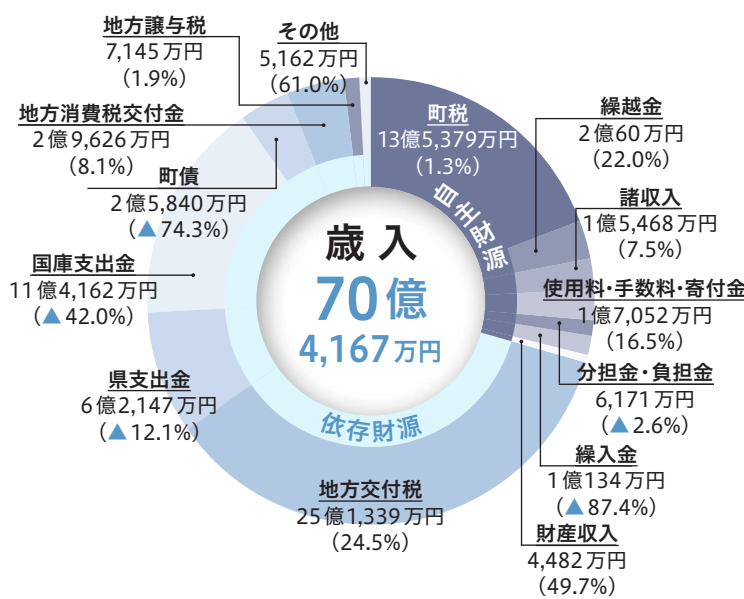
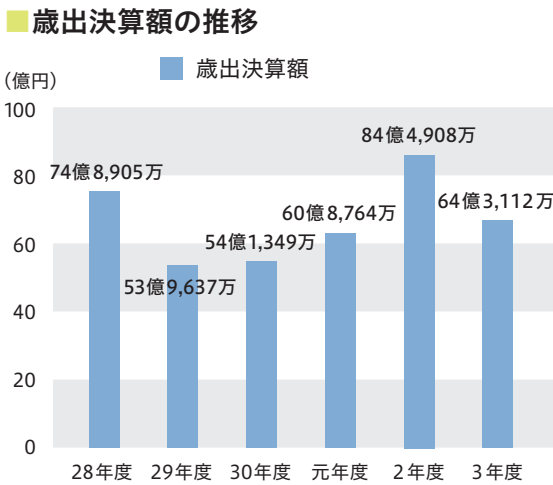
子育て世帯や住民税非課税世帯への臨時特別給付事業など民生費の増加、令和3年2月の本県沖地震により被災した昭和大橋や地域交流センターなど災害復旧費の増加、災害廃棄物処理事業（被災家屋公費解体）など衛生費の増加の一方で、庁舎建設事業や特別定額給付金事業の完了など総務費の大幅な減少により歳出総額は減少しました。



性質別歳出内訳 ※（ ）前年度比増減率	
40.6% (13.7%)	義務的経費 26億1,015万円 人件費 13億4,329万円 扶助費※1 7億9,935万円 公債費 4億6,751万円 ※1 児童・高齢者・障がい者・生活困窮者を福祉の面で支えるお金
14.2% (▲12.8%)	投資的経費 9億1,462万円 普通建設事業費 3億1,495万円 災害復旧事業費 5億9,967万円
45.2% (▲0.9%)	一般的経費 29億635万円 物件費 11億3,189万円 繰出金※2 7億2,875万円 補助費など 7億2,644万円 その他 3億1,927万円 ※2 一般会計から他会計や各種基金へ繰り出すための経費

町民1人あたりの歳出決算額		
費目	決算額	対前年度増減額
民生費	147,801円	36,971円
総務費	93,636円	▲227,819円
衛生費	76,048円	34,373円
教育費	68,227円	▲12,681円
公債費	41,150円	1,815円
土木費	40,597円	3,508円
消防費	34,844円	▲20,545円
農林水産業費	30,570円	2,018円
災害復旧費	16,577円	15,451円
商工費	11,844円	▲3,399円
議会費	6,826円	66円
諸支出金	0円	0円
合計	568,120円	▲170,242円
町民1人あたりの町税負担額	119,593円	2,763円

※令和4年3月31日現在の人口11,320人をもとに算出



歳入の特徴

地方交付税は、25億1,339万円となり、前年度比4億9,432万円増加しました。

地方交付税のうち普通交付税は、地域デジタル社会推進費の新設や、令和2～3年度における国税収入が増えたことにより増加。特別交付税は、令和3年2月の本県沖地震による災害廃棄物処理事業などへ措置されたことにより増加。国庫支出金は、特別定額給付金給付事業の完了により、町債および繰入金（庁舎建設基金）は、庁舎建設事業の完了により減少しました。

令和3年度 桑折町の決算

決算とは、皆さんが納付した税金や、国や県からの補助金・交付金などがいくら入ってきて、どのような目的で使ったかを明らかにする「町の家計簿」のようなもので、町の1年間のあゆみ・記録となります。

令和3年度は、コロナ禍を踏まえ、感染拡大防止と経済再生の両立を図りながら、地域社会・経済の再構築に向けた取り組みをより一層強化するとともに、総合計画「献上桃の郷こおり創生プラン」の最終年次として、令和4年度から始まる新しい総合計画に沿ったまちづくりへ円滑に移行するため、「健康と福祉の町」「危機管理に備える町」など6つの重点項目に予算を優先配分し、「住み続けたいまち 住みたいまち 桑折」の実現を目指して各種事業を実施しました。

その結果、歳入総額70億4,167万円（前年度比19.7%の減）、歳出総額64億3,112万円（前年度比23.9%の減）、歳入歳出差引額は、6億1,055万円となりました。このうち、やむを得ず翌年度繰越事業となった財源2,654万円を差し引いた5億8,401万円が剰余金となり、決算は黒字でした。剰余金のうち、2億9,500万円を財政調整基金に積み立て、残り2億8,901万円を翌年度へ繰り越しました。

予算の執行にあたっては、事業の重点選択化と諸経費の節減・合理化を図り、国や県の補助金など特定財源を確保しながら、財源の重点的かつ効果的な配分を行い、健全な財政運営に努めました。

決算は黒字

用語の説明	
【一般会計】 福祉や教育、土木といった一般的な事業に使われ、町の事業の基本となる会計	【繰入金】 各種基金や他会計から一般会計へ繰り入れるお金
【自主財源】 町税や使用料など、町が自主的に収入できるお金	【地方交付税】 自治体の財政力に応じ、国から交付されるお金
【依存財源】 地方交付税など、国や県の意味によって額が決められ、割り当てられるお金	【国庫・県支出金】 特定の目的のために、国や県から交付されるお金
【町税】 住民が町に納める税金	【町債】 国や銀行などからの借入金
	【公債費】 町債の返済に使うお金

特別会計決算			
会計区分	歳入	歳出	差引額
国民健康保険	14億676万円	13億6,520万円	4,156万円
後期高齢者医療	1億7,489万円	1億7,291万円	198万円
介護保険	16億6,752万円	16億458万円	6,294万円
公共下水道事業	3億1,545万円	2億9,280万円	2,265万円
水道事業会計			
会計区分	収入	支出	差引額
収益的収支	3億7,565万円	3億2,345万円	5,220万円
資本的収支	644万円	1億2,284万円	▲1億1,640万円

※資本的収支の不足額1億1,640万円は、留保資金および地方消費税資本的収支調整額などで補てんしました。

各種基金の残高（令和3年度末）		
会計区分	基金名	残高
一般会計	財政調整基金	11億2,433万円
	減債基金	1億3,375万円
	その他特定目的基金	7億8,653万円
	土地開発基金	1億2,021万円
	その他定額運用基金	7,574万円
合計		22億4,056万円
国民健康保険	国民健康保険基金	7,909万円
介護保険	介護給付費準備基金	1億1,915万円

公表	令和3年度 町財政の「健全化判断比率」「資金不足比率」「経常収支比率」			
	実質公債費比率・将来負担比率ともに基準値内であり、 財政の健全性が保たれている 状況です。			

(単位：％)				
区 分		元年度	2年度	3年度
健全化判断比率	実質赤字比率 (15.0)	－	－	－
	連結実質赤字比率 (20.0)	－	－	－
	実質公債費比率 (25.0)	10.4	9.6	9.2
	将来負担比率 (350.0)	14.4	36.6	14.0
資金不足比率 (20.0)	水道事業会計	－	－	－
	公共下水道事業特別会計	－	－	－
経常収支比率		89.6	88.0	88.1
※実質赤字比率、連結実質赤字比率および資金不足比率は、赤字や資金不足になっていないため、「－」で記載しています。() 内は早期健全化基準。これを超えた場合、財政健全化団体（黄信号）として、自主的・計画的な改善が義務付けられます。				
※1 標準財政規模…その地方公共団体が標準的な行政活動を行う上で通常見込まれる一般財源（使途の特定がない財源）の規模【桑折町はおおむね39億円程度】				

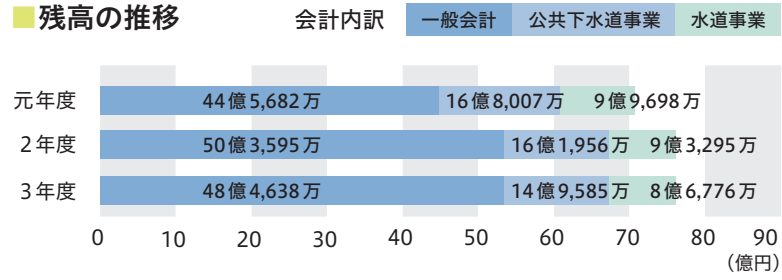
実質公債費比率 一般会計などが負担する地方債償還金（借金の返済）の標準財政規模※1に対する割合の3か年平均値。町が年間どのくらいを借金返済に充てているかを指標化したもの。家計に例えば、借金返済額の年収に占める割合。	将来負担比率 一般会計などが将来負担する実質的負債の標準財政規模※1に対する割合。将来負担見込額から基金などを控除したものが年間収入の何％に相当するかを指標化したもの。家計に例えば、借金残高の年収に占める割合。	経常収支比率 経常的経費（人件費や扶助費など）の経常的に収入される一般財源に対する割合。財政構造の弾力性を指標化。比率が低いほど新規事業に充てられる。家計に例えば、生活費など固定費の給料に占める割合。3年度県市町村平均は85.3％。
---	---	--

町債の状況

町債残高は、実質公債費比率と将来負担比率に大きく関わってきます。右記のグラフは、過去3年間の各会計の推移です。

令和3年度末 町債などの残高

会計区分		2年度末残高 (A)	3年度借入額 (B)	3年度償還元金 (C)	3年度末残高 (A) + (B) - (C)
町債	一般会計	50 億 3,595 万円	2 億 5,840 万円	4 億 4,797 万円	48 億 4,638 万円
	公共下水道事業特別会計	16 億 1,956 万円	3,790 万円	1 億 6,162 万円	14 億 9,585 万円
企業債	水道事業会計	9 億 3,295 万円	－	6,518 万円	8 億 6,776 万円



令和3年度

主な使いみち

「献上桃の郷こおり創生プラン」に基づき、健全な財政を保ちながら、桑折町らしいまちづくりに取り組みました。重点プロジェクトと基本構想別に、主な事業を紹介します。

重点プロジェクト	(単位：万円)	安全安心で住みやすい 生活環境の構築
質の高い桃生産に向けた農家支援	3,276	消防・防災（消防団活動費、防災力強化事業、土のう倉庫設置事業など）
献上桃の郷こおりシティプロモーション事業	477	
観光誘客プロモーション事業	543	生活安全（交通安全対策事業、防犯対策事業、消費者行政対策推進事業）
伊達桑折IC周辺の土地利用検討と企業誘致	80	
第28回全国山城サミット桑折大会	1,178	環境衛生(仮置場解体等事業、ごみ再資源化活動奨励事業、生ごみ処理容器購入補助事業など)
万正寺の大力や周辺整備事業	1,741	
旧伊達郡役所周辺整備事業	2,055	環境共生（桑折町再生可能エネルギー推進会議補助金、住宅用再生可能エネルギー設備設置補助事業）
魅力的で活力ある 地域社会の創生		
農林業振興（有害鳥獣対策事業、営農再開支援事業、ふくしま森林再生事業など）	14,222	総合交通網（町道新設改良事業、町道等維持管理事業、橋梁長寿命化事業など）
商工業振興（商店街活性化推進事業、桑折町商工業振興事業など）	650	
観光交流（こおりうまいものフェス事業、「ふくしまプライド。」販売力強化支援事業など）	2,907	居住環境（空家等対策事業、安全安心耐震促進事業、合併処理浄化槽設置整備補助事業など）
都市緑化と景観（公園・緑地維持管理事業、桑折地区かわまちづくり計画事業）	1,896	
歴史まちづくり（史跡桑折西山城跡周辺整備事業）	298	水道（水道施設整備事業補助金、簡易水道組合調査業務）
移住・定住（移住定住PR促進事業、若者定住促進事業、地域おこし協力隊事業など）	2,329	
健やかで希望に満ちた 暮らしの確立		計画推進に向けた取り組み
結婚・子育て支援（ネウボラ事業、出会い結婚支援事業、子ども医療費助成事業など）	9,836	住民自治の活性化（住民自治協議会運営交付金交付事業、桑折町表彰式）
健康と医療（こおり健康楽会、各種がん健診事業、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施など）	9,035	
地域福祉（社会福祉協議会事業補助金交付事業、障がい者福祉扶助費など）	30,990	行政機能の強化（証明書等コンビニ交付サービス、マイナンバーカード交付推進業務、新総合計画策定業務など）
志高い人材を育む 学びの醸成		
乳幼児保育と教育（保育所管理運営事業、幼稚園管理運営業務、放課後児童健全育成事業など）	24,114	健全な財政運営（ふるさと納税関連事業、町税等のコンビニ収納・口座振替利用促進）
小中学校教育（ICT教育推進事業、桑折学習塾の開催、学校給食の保護者負担軽減など）	10,573	
生涯学習（公民館事業、図書活動事業、青少年育成事業など）	1,105	広報・広聴の充実（広報こおり発行・町ホームページ運用管理業務、町勢要覧作成）
生涯スポーツ（スポーツ・健康講演会事業、運動教室、町民体育館照明等更新）	240	
		新型コロナウイルス感染症対策
		感染拡大防止対策事業（ワクチン接種事業、感染症予防対策事業、学校保健特別対策事業など）
		地域経済活性化対策事業（商工業活力再生コロナ対策事業、GoToEatこおり食事券発行事業、事業継続支援金給付事業など）
		町民生活支援事業（「こおり応援商品券」「こおりプレミアム商品券」発行事業、「桑折エールプロジェクト」こおり新時代・町民の元気発信事業）

令和4年度

一般会計上半期予算状況

今年度の当初予算総額は56億5,100万円でしたが、その後の予算補正により9月末の予算現額は、**69億7,755万円**となりました。

予算補正の主なもの

▶災害等廃棄物処理（公費解体）事業	5 億 4,401 万円
▶昭和大橋災害復旧事業	1 億 9,000 万円
▶被災住宅（応急）修理支援事業	1 億 4,867 万円
▶伊達崎小学校災害復旧事業	1 億 7,200 万円

「私が町長になったら」

桑折の未来 中学生が提案 こおり未来会議



新

総合計画の方策「広報広聴機会の充実」の一環として、町民のまちづくり

への関心の向上や、郷土愛の醸成を目的に実施する「こおり未来会議」。今回は、町の将来を担う醸芳中学生を対象に、町長特別授業と町長との懇談会が8月24日、醸芳中学校で行われました。

特別授業では、各教室に設置されたモニターを通じて、高橋町長が自ら全校生徒へ「住み続けたいまち 住みたいまち こおり」の実現に向けた、町の重点的な取り組みを説明しました。生徒らは、モニターに映る町長を見つめ、町が置かれている現状や目指す将来像を真剣に聞き入りました。



続いて行われた懇談会では、2、3年生の代表生徒9人が「私が町長になったら」をテーマに、日常生活の中で感じている町の課題や改善点、今後どのようなことに取り組みたいのかについて、アイデアを発表しました。



高橋町長は一人一人の意見に感想を述べ、「町の将来を真剣に考えてくれている姿に感動し、発表を聞いて、さらに可能性のある町だと感じた。中学生の皆さんも、同じまちづくりのパートナー。共に良いまちづくりに取り組んでいきたい」と話しました。

町は、今後も「こおり未来会議」を開き、町民の皆さんと共に、より良い町の将来を築いていきます。



たくさんのアイデアが出ました！

- 町民アンケートの対象者に小中学生も含めてほしい
- 半田山自然公園をもっと便利で、もっと遊べる場所に
- 「住みこちランキング2位」を大々的にPRしては
- 町のInstagramなどSNSをもっと充実させて

など

原爆投下の日に、広島を訪問 戦争の恐ろしき、平和の尊さ学ぶ

3年ぶりとなる平和学習派遣事業が8月5日から7日に行われ、各小学校6年生の代表児童4人が参加しました。児童らは、広島市の平和記念式典に参列し、市長による平和宣言やこども代表の平和への誓いを聞き、原爆の子の像に千羽鶴を奉納。また、平和記念資

料館の見学や被爆者の体験談を聞くなどしました。児童らは、クラスメイトに、戦争の歴史を伝えるべく、メモをとったり、普段学校で使用しているタブレット端末で写真を記録したりするなど、戦争の恐ろしさや平和の尊さを熱心に学びました。



平和を広めるためにできること

「本当の強さとは違いを認め相手を受け入れること」という平和式典での子ども代表の人の言葉にとっても共感しました。友達の個性を受け入れ、相手を理解しようとする、これが、私たち小学生でも平和を広めるためにできることだと強く思いました。



醸芳小
佐野 璃咲さん

戦争の悲惨さを忘れない

平和記念資料館に展示されていた当時の写真や遺品、手紙など見て、私と同じくらい年齢の子が命を奪われたという事実、胸が苦しくなりました。今まで、8月6日は単なる夏休みの1日でしたが、その日にどんなことが起きたのか、私はずっと忘れません。



睦合小
浅野 蓮心さん

私たちが果たすべき役割

平和学習に参加し、命の大切さや家族、友達がいる幸せについて考えることができました。平和とは、ただ願うだけでなく、願いや思いを言葉にし、行動に移し、形に残し、後世に訴えかけていくことが、平和学習に参加した私たちの果たす役割だと思いました。



半田醸芳小
片平 希美さん

未来へつなげていきたいこと

今現在も原爆によるやけどや後遺症で苦しんでいる人がいること、一瞬にして世界を変えてしまうのが戦争なのだとことを知りました。平和がどんなに素晴らしいことか、自分自身で感じ、みんなに、そして未来に伝えていこうと思いました。



伊達崎小
大槻 絢音さん

1・2 原爆ドームや資料館を訪れ戦争の悲惨さを目の当たりに 3 平和記念式典に参列 4 各小学校6年生が折った千羽鶴を原爆の子の像に奉納

登録第一号 福興産業株式会社 町SDGs登録制度登録証贈呈式



▲高橋町長から登録証を受け取る山川代表取締役社長（写真右）

SDGsに取り組む町内企業・団体などを「見える化」し、さらなる取り組みの振興を図るために創設された「桑折町SDGs登録制度」。登録企業第一号となる福興産業株式会社の登録証贈呈式が9月15日、役場で行われました。

同社は、積極的な低公害車の導入をはじめ、協賛する地元スポーツチームと子どもたちとの交流機会の創出、社員のスキルアップを目指した外部講師による研修会や資格取得の支援など、さまざまな活動を推進しています。

高橋町長は「いち早く同制度に申請いただき感謝している。SDGs推進の牽引役として社会に貢献していただきたい」と話しました。山川憲彦代表取締役社長は「2年前からSDGsを推進してきた。子どもたちに豊かな未来を残すために、今後も循環型社会の構築に取り組みたい」と決意を述べました。

夫婦で歩んだ農業道が評価 福島県農業賞受賞報告



▲高橋町長に受賞を報告する蓬田利昭さん（写真中央）と愛子（右）さん

長年に渡り培った経験を基に、県内農業の発展に貢献している経営体に贈られる第63回福島県農業賞（農業経営改善部門）を受賞した蓬田利昭さん、愛子さん夫妻（北沢）は9月13日、役場を訪れ、高橋町長に受賞を報告しました。

蓬田さん夫妻は、伊達崎地区に10か所以上ある樹園地で、「あかつき」をはじめとした10品種の桃を栽培し、安定した収量の確保と長期間の出荷に取り組んで

います。品種により栽培場所を分けることで、せん孔細菌病や凍霜害などの被害を最小限に抑えるなど、高品質な桃を切れ目なく出荷するために、試行錯誤を重ねてきました。長男の宗弘さんも就農し、経営を支えています。利昭さんは「地道に続けてきたことが評価されて、とてもうれしい。将来は、息子に経営をしっかりと継承し、責任を持つ町の農業を守り続けてほしい」と話しました。

町の農業に尽力 地域おこし協力隊委嘱状交付式



▲高橋町長から委嘱状を受け取る山本さん（写真中央）と高澤さん（右）

町特産桃の産地維持・継承を目的に、桃農家を目指す地域おこし協力隊の委嘱状交付式が8月29日、役場で行われました。

委嘱を受けたのは、神奈川県横浜市から移住された山本博史さんと、宮城県仙台市から移住された高澤祐哉さんです。山本さんは、蓬田宗由さん（館沢）の元で、高澤さんは山本一芳さん（西上）の

元で、桃の栽培技術を学びます。

町の農業分野における地域おこし協力隊は6人となりました。受入農家の元で研修をするとともに、町のさまざまなイベントに参加し、地域振興に協力しながら、「献上桃の郷桑折町」でしか作れない、全国に誇れる極上な桃の生産者となることを目指して、日々活動しています。

▼桑折町地域おこし協力隊（農業分野）

入隊月	氏名	受入農家（地区）
令和3年6月	永傳 龍規さん	相原 泰之さん（中屋敷）
令和3年8月	梅原 悟さん	渡邊 慎一朗さん（上成田）
令和4年4月	深澤 哲矢さん	後藤 哲男さん（北沢）
令和4年5月	山崎 裕太さん	八巻 聡さん（北郷）
令和4年9月	山本 博史さん	蓬田 宗由さん（館沢）
令和4年9月	高澤 祐哉さん	山本 一芳さん（西上）

災害時における応急対策・避難所の電力確保に向けて 町建設業組合・株式会社ACDCと協定



▲（左から）協定書を手にする高橋町長と半澤博組合長

町は、町建設業組合と8月23日、役場で「災害時における応急対策業務の支援に関する協定」を締結しました。

この協定は、災害により道路などの公共土木施設が被災、またはその恐れがある場合に、支援要請に基づく資機材の提供や作業員の出動による応急措置、復旧工事により、被害の



▲（左から）協定書を手にする高橋町長と菊池吉浩社長

拡大防止と被災施設の早期復旧を図り、住民生活の安全を確保することを目的としています。

また、9月6日には、株式会社ACDCと、役場で「災害時における電力供給等の協力に関する協定」を締結しました。

この協定は、災害による大規模な停電が発生した場合に、電気自動車などによ

る避難所への給電により、住民の安全と利便性を確保することを目的としています。また、有事に備え、電気自動車（公用車）などによる給電訓練を合同により行うこととしています。

町では、引き続き、安全・安心のまちづくりに向け、危機管理体制の取り組みを強化していきます。



晴天の下、声援響く 伊達崎小学校運動会

今年3月に発生した福島県沖地震の被害を受けた校舎の復旧工事のため、開催が延期されていた伊達崎小学校の運動会が9月10日、同校庭で開かれました。

全校生による鼓笛演奏で始まった運動会。待ちに待った晴れ

舞台を喜ぶ音色が青空に響き渡ると、客席からは大きな拍手が贈られました。競技では、日ごろの練習の成果を発揮すべく、最後まで諦めずに校庭を駆ける姿や、競技中の仲間を必死に応援する姿が見られました。

自己記録更新にチャレンジ 小学生陸上競技大会

第1回桑折町小学生陸上競技大会が9月17日、町民運動場で開かれ、町内小学5・6年生134人が参加しました。学校行事から自主参加の地域行事に変わってから初めて開催された今大会では、6種目の競技が行われました。子どもたちは、

P.T.Aや各種団体の協力のもと、自分で選んだ種目に果敢に挑戦し、目標に向かって練習してきた成果を思う存分発揮しました。全力で競技に取り組む子どもたちの姿に、クラスメイトや保護者から、たくさんの声援が送られ、会場は熱気に包まれました。

大会結果 各種目の1位は次の通りです（下線は大会新記録）。

（敬称略）

男子	5年100m走	大野蓮翔（醸芳）16秒61	女子	5年100m走	宮田紗奈（伊達崎）16秒44
	6年100m走	伊藤瑞輝（醸芳）13秒99		6年100m走	八島結瑞（醸芳）16秒14
	5年1000m走	佐竹颯太（醸芳）3分54秒89		5年800m走	大槻絢香（伊達崎）3分29秒62
	6年1000m走	菅野斗吾（醸芳）3分26秒23		6年800m走	八島結瑞（醸芳）3分00秒68
	5年走り幅跳び	曳地将真（半田醸芳）3m46cm		5年走り幅跳び	浅野花絵（醸芳）3m40cm
	6年走り幅跳び	伊藤瑞輝（醸芳）4m93cm		6年走り幅跳び	羽根田純伶（半田醸芳）3m10cm
	5年ボール投げ	櫻井優成（半田醸芳）49m20cm		5年ボール投げ	岡崎柚来（伊達崎）28m40cm
	6年ボール投げ	石井奏多（醸芳）49m17cm		6年ボール投げ	角館真宙（伊達崎）30m46cm
	5年リレー	醸芳小5の2 1分06秒53		5年リレー	醸芳小5の1 1分08秒84
	6年リレー	醸芳小6年 57秒63		6年リレー	醸芳小6年 1分09秒59
混合	5年リレー	M.R.1（睦合）1分06秒92 / 6年リレー		半田26の瞳（半田醸芳）1分05秒23	

各大会での活躍に期待 激励金贈呈式

各種大会の出場が決まった選手・チームに対し、町から激励金を贈呈する激励金贈呈式が、8月16日・9月8日に役場で行われました。高橋町長は「持てる力を存分に発揮し頑張ってほしい」と激励しました。各種大会出場選手・チームは次のとおりです（敬称略）。



▶激励金を受け取る選手の皆さん

- 渡辺京哉 蓬田昊哉
- ▼第14回全国女子選抜フットサル大会 古山有羽
- ▼第104回全国高等学校野球選手権大会 大槻俊齊
- ▼第57回全国高等専門学校体育大会・第49回全国高等専門学校体育大会野球競技 佐藤悠有
- ▼第77回国民体育大会 グラウンド・ゴルフ競技 佐藤昭次
- ▼日本スポーツマスターズ2022ダンススポーツ競技大会・ねりんピックかながわ2022ダンススポーツ交流大会 熊谷義昭 熊谷正子
- ▼第16回市町村対抗福島県軟式野球大会・第9回市町村対抗福島県ソフトボール大会 桑折町チーム

選挙の結果をお知らせします

町長選挙

9月20日告示、25日投開票の町長選挙結果は次のとおりです（任期は令和8年9月29日まで）。

	候補者名	得票数
当選	高橋宣博	3,954
	斉藤 謙	1,865

投票総数5,919票（有効5,819票、無効100票）

町議会議員補欠選挙

9月20日告示、25日投開票の町議会議員補欠選挙（改選数2）結果は次のとおりです（任期は令和5年10月13日まで）。

	候補者名	得票数
当選	野田(羽根田)ひとみ	2,658
当選	石幡政子	2,119
	川村滋道	1,027

投票総数5,918票（有効5,804票、無効114票）



羽根田ひとみ



石幡政子

心と体のリフレッシュ 家族介護者交流事業

在宅で介護をしている家族の心と体のリフレッシュを目的とした家族介護者交流事業が9月9日、イコレーで行われました。

介護者の日ごろの悩みや介護に対するさまざまな思いなどを話し合う時間や、マリンバ奏者の鴨田早希さん（町在住）、飯野未奈美さん（山形市）によるマリンバコンサートの鑑賞、また、ピザスタのランチでは、特別メニューを堪能するなど交流を深めました。

介護者同士が楽しく交流し、癒しのひと時を過ごしました。



自分の体を知ることからはじめよう

皆さんは、自分の体重や体脂肪率・筋肉量、血圧などを把握していますか。自分の体のことでも意外と知らないことが多いのではないのでしょうか。町では、1日の野菜摂取量が測定できる「ベジチェック」、体の部位別の筋肉量などが分かる「インボディ」の測定会を実施します。この機会に、自分の体を知り、改善へとつなげていきましょう（「こおり健康ポイント」対象事業です）。

健康測定会のご案内

ベジチェック出張測定会

＼代表者は事前予約をお早めに／

期間 10月18日（月）～31日（木） ※平日のみ
9:00～16:30

内容 サロン、団体、企業などに健康福祉課職員が出向き、ベジチェックの測定を実施します。

申込先 希望者は、希望する日時を電話で申し込みください。
健康福祉課 健康増進係 ☎582-1133

役場での測定会

＼どなたでも測定できます／

期間 11月1日（月）～15日（金） ※平日のみ
9:00～16:30

内容 役場1階 健康福祉課窓口前

申込先 インボディ・ベジチェックの測定

日曜健康測定会

＼さまざまな体験ができます／

日時 11月6日（日） 9:30～16:00

場所 屋内温水プール・多目的スタジオ「イコーゼ!」

内容 同日開催する健康イベントに合わせて実施する測定会です。健康イベントではストレスチェックやビタミンスムージー試飲、健康相談、フットマッサージなど、さまざまなヘルスアップが体験できます。

Point
2筋肉・脂肪量を確認
インボディ

体成分を分析できる装置です。素足で機械に乗り、両手で取っ手を握って約1～2分待つだけで、腕や足など部位別の筋肉量や内臓脂肪レベル、体脂肪率などが分かります。また、たんぱく質・ミネラル量も把握でき、栄養改善にも役立てられます。

Point
1野菜摂取量が分かる
ベジチェック

ベジチェック（カゴメ株式会社）という機器に、手のひらを数10秒のせるだけで、1日におよそ何グラムの野菜を摂取しているのかがその場で確認できます（皮膚のカロテノイド量を測定し、推定野菜摂取量を算出するものです）。

Point
3あなたは合格点？
健康グッズプレゼント

ベジチェックやインボディを測定した人には、健康グッズをプレゼント。W特典として、測定結果が下記の基準を超えた人には、さらにプレゼントがあります（数に限りがありますので予めご了承ください）。

----- W特典基準 -----

- ☑ ベジチェック 8.0以上
（野菜1日350g以上※）
- ☑ インボディ測定 80点以上

※腎機能が低下している人は、カリウム制限が必要な場合があります。カリウムは、生野菜や果物に多く含まれますので、摂り過ぎに注意が必要です。

第1回健康測定会の様子



測定者数
ベジチェック 105人（8.0以上 17人）
インボディ 72人（80点以上 9人）

ポイ活で一石二鳥！ 健康と地元産品を手に入れよう

健診やがん検診、いきいき百歳体操などに参加すると、健康ポイントが付与されます。貯まったポイントは、地元産品や健康グッズと交換できます。

健康ポイント 50ポイント（カード1枚）▶ 地元産品・健康グッズと交換

※人間ドック、歯科検診、がん検診などを受けた人は、健康福祉課 健康増進係へお知らせください。
※50ポイント（カード1枚）が貯まり次第、健康福祉課の窓口で交換できます。



広告

NEWS

言葉の理解力を高めよう

子育てアドバイス

コロナ禍において、外出自粛などによる子どもたちの体験不足が懸念されています。自ら体験することは、理解へとつながります。また、見たものや体験したことを一緒に言葉にすることで、理解力が高まります。まだ話せない年齢の子に対しても、言葉で教えていきます。1歳半健診では、指差し遊びを行います。言葉と物が一致するように、日ごろから繰り返してあげることが大切です。

Information

vol.8

むし歯のない子

3歳児健診で、むし歯のなかったお子さんをご紹介します。



松野 凜太郎くん



幕田 和花奈ちゃん



亀岡 誠人くん



和泉 光ちゃん



渡邊 詩織ちゃん



亀岡 未空ちゃん



相原 太一くん



藤倉 遥陽くん



佐久間 大翔くん



佐藤 稜真くん



稲村 瑠くん



佐藤 光莉ちゃん



佐藤 彩愛ちゃん



氏家 彩葉ちゃん



水戸 千尋くん



渡邊 翔真くん



工藤 圭寿くん



佐久間 優妃ちゃん

広告

10

Oct.2022
Calendar

10/5	WED	広報10月号・お知らせ版 特定健診・後期高齢者健診・がん検診	★
6	THU	特定健診・後期高齢者健診・がん検診	♡
7	FRI	特定健診・後期高齢者健診・がん検診	◆★
8	SAT	特定健診・後期高齢者健診・がん検診 釧路幼稚園運動会 秋の星空観察会	
9	SUN	◎小野寺整形外科医院 ☎575-2001	
10	MON	◎井上内科クリニック ☎581-2202	
11	TUE	初めてのタブレット (iPad) 教室① 離乳食教室 (睦合公民館) 健康相談日	
12	WED		★
13	THU	4・7か月児健診 (R4年5・2月生) (ブックスタート)	
14	FRI		◆★
15	SAT	城攻めウォークKoori 2022 (～16日) 釧路中祭	
16	SUN	◎大山クリニック ☎583-2136	
17	MON		♡
18	TUE		
19	WED	広報お知らせ版	★
20	THU	10・11か月児健診 (R3年10・11月生)	♡
21	FRI		◆★
22	SAT	桑折学習塾 (中学)、小学校学習発表会 第47回桑折町文化祭 (～23日)	
23	SUN	屋内温水プール休館 (～11月1日) ◎桑名医院 ☎583-3024	
24	MON		♡
25	TUE	すくすくカフェ「ママトーク」	
26	WED		★
27	THU		♡
28	FRI		◆
29	SAT	桑折学習塾 (中学)	
30	SUN	◎北福島医療センター ☎551-0551	
31	MON		♡
11/1	TUE	4・7か月児健診 (R4年6・3月生) (ブックスタート)	
2	WED	花の寄せ植え教室	★

●イコーゼ ●やすらぎ園 ◎休日当番医

◆母子手帳交付・すくすくの日

【子育て支援センター】：イコーゼ 10:00～11:30

♡ベビールーム (1か月～1歳5か月ごろのお子さんと保護者)

★キッズひろば (1歳6か月ごろ～就園前のお子さんと保護者)

▶「すくすく」(☎582-6045) へ事前に予約してください。

Recipe

管理栄養士のおすすめレシピ

鮭と大根の
和風スープ

塩分
1.2g



■材料 (4人分)

生鮭 …………… 3切れ
大根 …………… 1/4本
にんじん …………… 1/2本
バター …………… 10g
小麦粉(薄力粉) …… 大さじ2
だし汁 …………… 400cc
牛乳 …………… 400cc
みそ …………… 大さじ1
グリーンピース …… 大さじ2
粉山椒 …………… 適宜

【1食分の栄養価】 エネルギー 229kcal / たんぱく質 19.0g / 脂質 9.4 g / カルシウム 163mg / 鉄 1.0mg / 塩分 1.2 g

■作り方

- ①大根とにんじんは大きめの乱切りにし、水から15分下茹でする。
- ②鮭は、1切れを3～4つのそぎ切りにする。
- ③厚めの鍋にバターを溶かし、鮭を両面焼き、一度取り出す。
- ④③の鍋に①を入れて炒め、小麦粉をふり入れ、だし汁を加えて野菜がやわらかくなるまで煮る。
- ⑤④に、鮭・牛乳・みそを加えて火を止める。
- ⑥器に盛り付け、グリーンピースを散らし、お好みで粉山椒をふって出来上がり。

voice / おすすめポイント



スープに、いろいろな食材を入れると一品でも栄養満点ですね。牛乳も入っているのでカルシウムもとれます。

佐藤尚子さん、月音ちゃん

check

11月6日(日) 健康講演会開催

① 10:00～11:00 「笑って健康」

講師：福島県立医科大学医学部疫学講座
主任教授 大平哲也 さん

② 11:15～11:45 「笑って、動いて、汗かいて、筋肉増やしてフレイル予防！」

講師：YAGO メディカルフィットネスクラブ
健康運動指導士 滝口義光 さん

③ 13:00～13:40 健康宣言

13:40～14:40 「コロナに負けない! 子育てと健康づくり」
ゲスト：照英 さん

※参加申込が必要なため、健康福祉課 (☎582-1133) までご連絡ください。

図書だより

図遊学館「よも～よ」☎582-5388

／ 今月のおすすめ ／

秋の夜に読みたい本



一般書

■夜に星を放つ 窪美澄：著（文藝春秋）

学校でいじめを受けている女子中学生と、亡くなった母親の幽霊との奇妙な同居生活を描く「真珠星スピカ」など、かけがえのない人間関係を失い傷ついた者たちが、再び誰かと心を通わせることができるのかを問いかける、夜をテーマにしたタイトル5つからなる短編集。第167回直木賞受賞作品。



児童書

■まっくらあそびしようよ！ はたこうしろう：作（ほるぷ出版）

きょうだいがおばあちゃんの家にあそびにいった夜。明かりを消すいつもより部屋がまっくら。弟はなんだかこわくて眠れません。そこでお兄ちゃんがまっくらだからできる遊びをしようとしてきて…。ライトとカメラをつかったライトアートの楽しみ方を紹介。夜が楽しくなる絵本です。

掲示板

図教育文化課 ☎582-2403

令和5年桑折町成人式

民法改正により、令和4年4月から成年年齢は18歳へと引き下げられました。町では、成年年齢引き下げ後も従来通り、20歳となる人を対象とした式典を下記のとおり開催します。町内に住所のある対象者には別途案内し、事前に出欠を確認します。町内の小中学校の卒業生で、現在、町外に住所を移している参加希望者は、ご連絡ください。

- 日 時 令和5年1月8日（日）13:30～
- 会 場 屋内温水プール・多目的スタジオ「イコーゼ！」
- 対象者 平成14年4月2日から平成15年4月1日までに生まれた人

※詳しくは町ホームページをご覧ください。

☎町教育委員会 教育文化課
☎582-2403

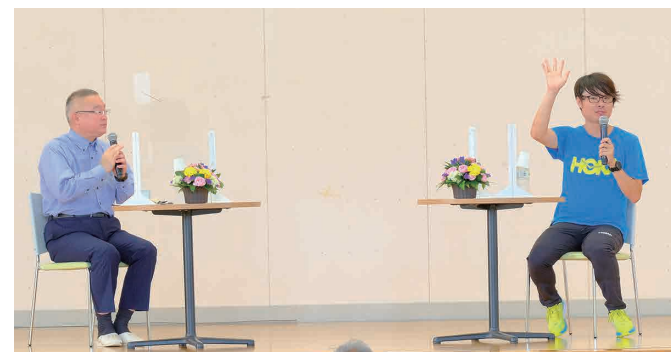


INVITING COMMUNITY
ZONE FOR EVERYONE

生涯学習だより

山の神 降臨！ 柏原竜二講演会＆走り方教室

「柏原竜二講演会＆走り方教室」が9月4日、町民体育館で開かれ、約130人が参加しました。講師は箱根駅伝で大活躍し、「山の神」と称された富士通（株）の柏原竜二さん。講演会は、ラジオ福島の鏡田辰也アナウンサーとのトーク形式で行われ、柏原さんの少年時代や大学時代の箱根駅伝にまつわる貴重な話を聞くことができました。柏原さんは「成長していく過程で夢を持つことが大事で、夢は変わってもいい」と、会場に集まった子どもたちに向けてエールを送りました。子どもたちからは「集中力を切らさないためにはどうしたらいいか」などの質問があり、柏原さんが客席に降りて町民とふれあいながら答えました。走り方教室には、小中学生約50人が参加。柏原さんから速く走るコツなどのアドバイスを受け、子どもたちは、楽しみながら体を動かしていました。



1 鏡田アナウンサーと箱根駅伝での思い出などをトークする柏原さん（右） 2 子どもたちに体の動かし方などを直接指導



世界の昆虫に夢中 夏休み昆虫展

福島虫の会の会長を務めた、福島大学名誉教授・故蜂谷剛氏の標本コレクションを展示する「夏休み昆虫展」が、7月21日から8月21日までイコーゼ！で開かれ、700人を超える人が来場し、世界の昆虫を鑑賞しました。昆虫標本以外にも、ぬり絵やクイズ、昆虫釣りなどのコーナーを設置。子どもから大人まで思い思いに楽しみました。「多くの虫を見られて楽しかった」「ぬり絵が楽しくて、子どもがずっと遊んでいた」など多くの感想が寄せられました。



歴史を受け継ぐ こども歴史案内人育成講座

第1回桑折西山城跡こども歴史案内人育成講座が9月18日、24日、10月2日の3日間、桑折公民館や現地で開かれ、小学6年生18人が参加しました。町の学芸員から桑折西山城跡について学び、全3回の講座終了後、こども歴史案内人の認定証が渡されました。こども歴史案内人は、10月15日開催の「桑折西山城まつり～城攻めウォーク KOORI 2022」で、桑折西山城跡を案内・解説します。ぜひ現地で子どもたちの解説をお聞きください。



預けて安心 自筆証書遺言書保管制度

自筆証書遺言書保管制度の説明会が8月31日、桑折公民館で開かれました。福島県法務局の酒井直仁さんを講師に迎え、24人が参加しました。相続についての説明や遺言書のメリット、書き方、法務局に預けるための手続きなどを学習。遺言状は全文手書きで作成するなど、具体的なポイントについて、参加者はメモを取りながら熱心に学びました。講座終了後は、質問が数多く出され、自分で書く遺言書とその保管制度への関心の高さがうかがえました。

マルベリーこおり

図マルベリーこおり事務局 ☎582-3129

マルベリーこおりCUP 第6回バドミントン大会

- 日時 11月27日（日）9:00～12:30
- 場所 釧路中学校体育館
- 参加料 1組500円
- 参加条件 町内在住・在勤者
※個人での申し込みも大歓迎
- 競技種目 ダブルスのみ
(1) 一般の部
(2) エンジョイ☆ファミリーの部
- 募集締切 11月18日（金）（事務局まで）

みんなでスポーツしよう！

火曜日は、釧路中学校体育館、金曜日は半田釧路小学校体育館で、バドミントンを楽しんでいます。一緒に汗を流してみませんか。



まちのお知らせ

Town information.

マイナンバーカードを利用して全国のコンビニエンスストアなどで住民票と印鑑登録証明書を取得する手数料が、期間限定で（令和5年3月31日まで）半額になります。

■必要なもの

- マイナンバーカード
- 数字4桁の暗証番号

身近な場所で、手軽に取得！

住民票などコンビニ発行手数料半額

取得できる証明書	手数料	請求できる範囲	利用時間
住民票の写し	1通 300円	桑折町に住所がある 本人・同一世帯の人	6:30～23:00 ※メンテナンス 日・年末年始 を除く
印鑑登録証明書	▼ 150円	桑折町で印鑑登録を している本人	

■利用できる店舗

全国のセブン-イレブン、
ローソン、ファミリーマート、
ミニストップなどマルチコ

ピー機が設置されている店舗

◆ 問い合わせ ◆

税務住民課 住民国保係

☎ 582-2114

広告

広告

POLICE メールふくしまで防犯対策！

福島県内で発生した事件・事故などをメールでいち早くお知らせ！

- なりすまし詐欺情報
- 不審者情報
- 防犯対策・犯罪発生情勢
- 交通安全情報

など



〒福島北警察署 桑折分庁舎 ☎ 582-2151

広告

広告

わたしの夢

Dreams come true.

選手を支えるスポーツトレーナー

佐藤 琉斗さん（釧路中3年生）



SATO
RYUTO

将来社会人のソフトテニスチームに所属し、選手としてトレーナーとして活躍したいです。

わたしの夢は、スポーツトレーナーとしてプロ選手を支えながら、大好きなソフトテニスを子どもたちに広めていくことです。

私は、小学生のころからソフトテニスを続けてきましたが、中学生になると怪我が増え、通院も多くなりました。治療を受ける中で、自分もスポーツ選手のケアをする仕事に就きたいと思うようになりました。怪我の治療だけでなく、ケガをしないための体作りや戦術、食生活に至るまで、選手が活躍できるようさまざまなサポートができるトレーナーを目指しています。また、その知識を活かし、学校などでもコーチとしてソフトテニスを広めていきたいです。

こおりスマイル You have a good smile.



加賀 未来莉ちゃん

元気に大きく育ってね！
ママより♡



半澤 陽翔くん

いっぱい食べて大きく育って
ね！ ママより♡



佐藤 里帆ちゃん

いつもニコニコ笑顔でいてね
ママより♡

町民の皆さんの笑顔の写真を募集します。年齢は問わず、赤ちゃんから学生さん、大人の方まで大歓迎！
①最近撮影した写真 ②氏名（ふりがな）・性別 ③メッセージ（20字程度）を記入して応募してください。
【応募先】総合政策課 ☎ seisaku@town.koori.fukushima.jp QRコードから簡単にメール送信できます。



広告

みんなのSDGs



クラブ活動の他、それぞれの会社や事業所でも、積極的にSDGsを推進する皆さん

コロナ禍、ウクライナ侵攻—— 今だからこそ必要とされる活動を

桑折ライオンズクラブ

桑折ライオンズクラブは、SDGsの達成に向けて、さまざまな活動に取り組んでいます。近年は、主に子どもたちへの支援に力を入れ、事故や病気で髪を失った子へウィッグ（かつら）を贈るヘアドネーションや、健全な教養育成のため、中学生へ図書を贈る活動など、幅広く事業を展開しています。

特に、今年度は、「今だからこそ必要とされる活動」として、コロナ禍で活動休止が続いた「桑折町子ども食堂」を励まそうと、炊飯器や電子レンジなどの調理家電を寄贈しました。また、ロシアのウクライナ侵攻を受けて、町内の小中学生を対象に、平和を考えるポスター展も実施。同団体で監事を務める和泉守昭さんは「独創的な作品が集まった。世界中の人が手を取り合って、みんなで輪になる絵が印象的だった。子どもたちが戦争の悲惨さを知り、平和の大切さを考える良い機会になったと思う」と話しました。会長の佐藤徳雄さんは「これからも情勢を踏まえて、できることからSDGsに取り組む。行政や商工会らとベクトルを合わせて、町全体へ理念を浸透させていきたい」と意気込みました。

【編集後記】

▶こおり未来会議や平和学習派遣事業、運動会に陸上競技大会と、児童・生徒の皆さんが活躍する場面が多い10月号となりました。コロナ禍により開催を中止していた行事も、工夫をしながら再開され始め、少しずつ活気が戻ってきたような気がします。陸上競技大会は、絶好の日の中行われました。それぞれが目標に向かって全力を出し切る姿や、その姿を全力で応援するクラスメイトの姿に、私もたくさんの元気をもらいました。（大越）

◆人口（前月比）9月1日付

人口	計	11,290人	(-10)
※住民基本台帳/外国人含む	男	5,483人	(0)
	女	5,807人	(-10)
世帯数		4,615世帯	(+6)
転入	25人	出生	5人
転出	18人	死亡	22人

◆今月の納税

- ・町県民税（普通徴収3期）
- ・国民健康保険税（普通徴収4期）
- ・介護保険料（普通徴収4期）
- ・後期高齢者医療保険料（普通徴収3期）

期限 **10月31日** 日

◆住民票・戸籍・印鑑・税証明交付/印鑑登録/マイナンバーカード交付など窓口延長（毎週木曜日、午後7時まで。祝日除く。）

※**当日午後5時**までに税務住民課（☎582-2114）へ要予約。